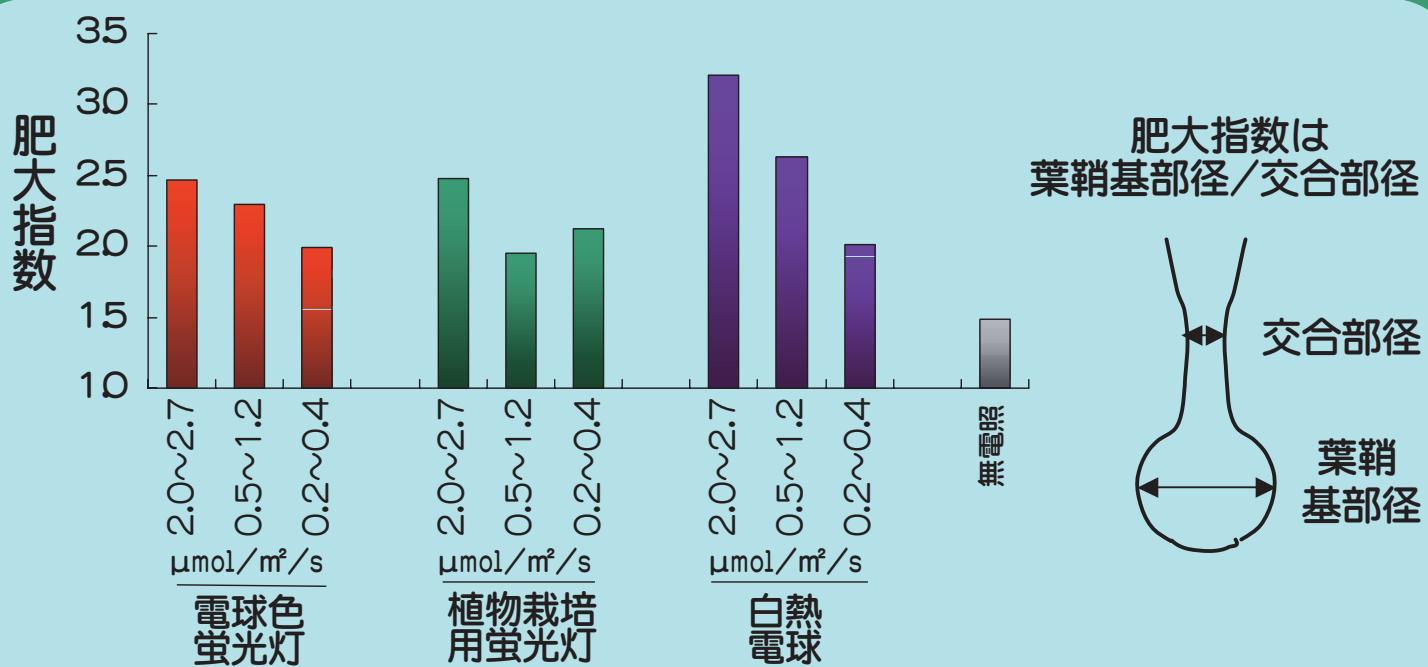


初夏どりワケギの種球肥大促進技術

初夏どりワケギ栽培は、種球の肥大充実が不十分なため、発芽や生育の不揃いが問題となっています。そこで、3月に充実肥大した種球を得るための電照時の光源と畳面の光強度(PPFD)を明らかにしました。



電照時の光源の種類と畳面のPPFDによるワケギ種球の肥大指数

注)PPFDは光強度(光合成有効光量子束密度)を表し,2.0~2.7 $\mu\text{mol}/\text{m}^2/\text{s}$ は高さ1mに90Wの白熱電球を点灯した時の畳面の明るさに相当する

成果の内容

◆電照光源の種類

白熱電球が、りん茎の肥大促進に効果的です。

◆光強度

PPFD2.0~2.7 $\mu\text{mol}/\text{m}^2/\text{s}$ で肥大が良好です。



白熱電球(PPFD2.0~2.7 $\mu\text{mol}/\text{m}^2/\text{s}$)による電照がワケギ種球の肥大に及ぼす効果